薬科学専攻修士課程

	1年	2年

DP2：技能･表現
①「基礎薬科学」に関する研究を行うための技能を有し、新たな展開を図ることができる。
②「応用薬科学」に関する研究を行うための技能を有し、新たな展開を図ることができる。

DP3：思考･判断
①「基礎薬科学」あるいは「応用薬科学」分野の新たな問題・課題を見出すことができる。
②「基礎薬科学」あるいは「応用薬科学」分野の新たな問題・課題の解決への方策を提示できる。

DP4：態度・志向性
①医薬品の創製、医薬品の開発、医薬品の適正使用、化粧品、健康食品の開発に関わる専門的な教育・研究を行うことを志向する。
②製薬・化学・化粧品・食品産業、環境衛生・試験研究機関、理科教員として活躍することを志向する。

DP1：知識･理解
①医薬品の創製のための有機化学、物理化学、分析化学、生命科学、薬理学、薬剤学、衛生・環境化学などの「基礎薬科学」に関する専門的な知識を有し、体系的に理解している。
②医薬品の開発のための医薬品の有効性・安全性評価、有用性評価、製剤化、治験、化粧品、健康食品などの「応用薬科学」に関する専門的な知識を有し、体系的に理解している。

研究指導Ⅰ～Ⅳ

薬科学論文作成実験Ⅰ → 薬科学論文作成実験Ⅱ

薬科学特別演習Ⅰ → 薬科学特別演習Ⅱ

①基礎薬科学

有機化学特論	有機合成特論
薬用資源学特論	生体分子解析学特論
物理化学特論	細胞生物学特論
分子生物学特論	薬理学特論
薬剤・製剤学特論	衛生・環境学特論

②応用薬科学

健康予防栄養学特論	データサイエンス特論
ゲノム医療・精密医療学特論	レギュラトリーサイエンス特論
治験・臨床開発特論	化粧品科学特論

薬科学英語演習

修士論文